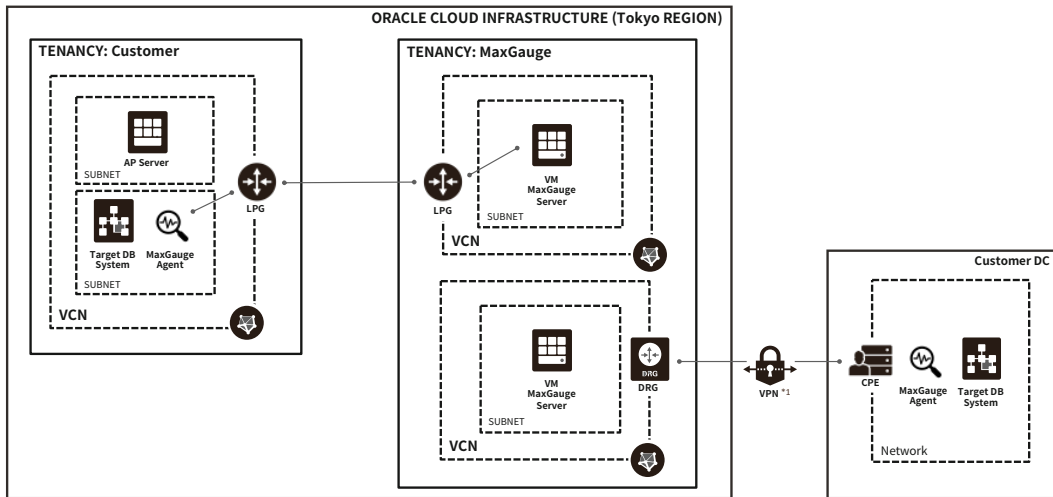


# “MaxGauge

## Oracle Databaseの稼働状況を可視化 開発・運用での大幅な工数削減を実現

### ソリューション構成



\*1 顧客要件に基づき対応可能

### ソリューション概要

Oracle Databaseの稼働状況を24時間365日、リアルタイムでセッション・SQLの明細までも記録できるようになることで、詳細な調査とともに、突発的なトラブルでも事後に確実に状況把握ができます。

またWebブラウザにより、記録した情報を自由自在に分析できます。

### MaxGauge 3つの特徴

**軽い**

Oracleに  
負荷をかけずに  
情報収集

**詳細**

Oracleの  
性能情報を  
もれなく収集

**簡単**

障害原因を  
即座に特定

### MaxGauge導入の効果 ~システム開発・運用現場でありがちな問題を以下のように解決します~

#### 1 問題予兆発見

システムトラブルの種を早期発見

スパイク頻度の増加 (=問題予兆)の発見

スパイク原因箇所から

遅いSQLを発見

#### 2 開発・運用間の共通言語

情報共有で双方の壁を取り除く

インフラ側の状況は問題ない

原因の特定はまだ?

システムの安定が最優先の運用チーム

アプリケーションの問題だと思うのに...

アプリケーション原因の証拠は?

原因特定までできなくても推測はできないのか?

仮説でもいいから何かないと手伝えない

VS

プロジェクト進行が最優先の開発チーム

#### 3 監視に情報収集をプラス

再調査・再現待ちを防ぐ

トラブルだ情報集めなきゃ...

エラーを確認してログをExcelで読込んでグラフを作って...

すぐに復旧しなきゃ...

問題の痕跡は今回も残ってないな...

**統合監視**  
JP1, SystemWalker, Zabbix, Hinosmos等

**MaxGauge**

**情報収集**  
稼働情報自動収集~形成~視覚化

#### 4 トラブル速攻解決

即原因判明で改善検討に集中

改善案検討 20%

分析 30%

情報収集 50%

- 要件機能を満たすことで精一杯である
- テスト期間が非常に短くなってしまふ
- 負荷検証にかけられる時間が足りなくなる
- 十分な検証ができない
- 性能不安を抱えたまま運用に入るケースがある
- リリース後予期せぬ負荷がかかるが想定しづらい
- 障害が発生し最優先で対応しなければならない

効率化・迅速化には情報収集が最重要課題

データベース運用での様々な場面で情報収集が工数の50%を占めています。これらの自動化が、工数削減・スピードアップへの近道となります。GUIでの「見える化」によりさらなるスピードアップ!

MaxGauge

- ▶ 情報は自動収集
- ▶ 即座に調査にかかれる
- ▶ 問題発生ポイントの確定 → 問題プログラムの特定がすぐ可能

▶ アラート発生後即調査開始 対応時間70%短縮 ◀

▶ 情報収集の自動化により 生産性の高い業務に集中 ◀

MaxGauge機能



リアルタイム表示

データベースの稼働状況をリアルタイムに表示します。サーバの負荷状況、データベースの状態、実行中のSQLなど様々な情報をユーザフレンドリーなUIにより簡単に表示することが出来ます。



事後分析

収集した稼働情報から過去のデータベースの状況を分析することが出来ます。大量の稼働データから分析することで過去にどのような事象が発生していたか簡単に確認することが出来ます。



セッション情報

データベースで実行中のセッション情報の詳細を収集します。最短1秒間隔でセッション情報を収集することで「なぜ遅くなったのか？」など事象把握や根本原因を調査することが可能です。



SQL情報

データベースで実行されたSQLを0.05秒間隔で収集します。収集したSQL情報から実行時間が遅いSQLや負荷の高いSQLなどを確認することが可能です。



データベース統計

データベースの統計指標や待機イベントの全ての情報を1秒間隔で収集します。全ての指標を収集することからデータベースの状況を漏れなく把握することが可能です。



OS情報

データベース・サーバのOSのCPU、メモリ、プロセスの情報を1分間隔で収集します。データベースだけでなく、OS視点でも状況を把握することが可能です。

基本機能	待機イベント	システム統計	SQLランキング	スマート分析	1日サマリ	性能トレンド	セッションリスト
	アクティブセッションリスト	SELECT DELETE INSERT SQLリスト	SQL実行計画	SQL実行計画履歴	オブジェクト別アクセス統計	フローマップ	データベース診断ビュー
分析機能	ホットスポット分析	上位N分析	PL/SQL分析	長期分析	テーブル別CRUD分析	実行時間分析	
	比較機能	モジュール比較	プログラム比較	ピークタイム比較	トレンド比較	上位SQL比較	イベント比較
レポート	長時間レポート	ホットスポットレポート	日次レポート	表領域	表領域情報	セグメント情報	
	OS情報	CPU使用率	メモリ使用率	プロセスリスト	アラート	アラート分析	アラート通知

主要画面イメージ



詳しくは当社製品サイトをご覧ください  
<https://www.ex-em.co.jp/product/fororacle/>

オラクルクラウドテクノロジー

Generation 2クラウド・インフラストラクチャ

Compute

Virtual Machine VCPUV

Database

Oracle Database Cloud Service VStandardV

Networking Connectivity and Edge Services

Virtual Cloud NetworkV

Storage

Block VolumeV

<https://www.oracle.com/jp/cloud/products.html>

ソリューションパートナー



日本エクセム株式会社 営業推進部  
<https://www.ex-em.co.jp/V>

ソリューションお問い合わせ

MAIL sales@ex-em.co.jp  
 TEL 03-3518-0771

“MaxGauge” empowered by “Oracle Cloud” from “日本エクセム株式会社”

本カタログの情報は2020年3月のものです。実際の製品とは内容が異なる場合があります。  
 OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。  
 本書面は、第三者が提供するコンテンツ、製品およびサービスに関する情報及びアクセスを含みます。Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社は、当該第三者のコンテンツ、製品およびサービスについて一切の責任および保証義務を負わず、その利用によって生じた損失、損害および費用について一切責任を負いません。お客様の責任でご利用ください。V